

令和 7 年度第 4 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 観光振興

開 催 日 : 令和 7 年 8 月 23 日(土曜日)

会 場 : 東京深川モダン館 多目的スペース

参加人数 : 13 名(内、オンライン参加 1 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



■主なご意見・ご提案等

【グループ1】

- ・ 木場公園の「早咲き桜」や古石場川親水公園の「牡丹園」など、魅力のあるスポットに飲食店や美術館などを集め、大きな公園をつくるという構想を打ち出したい。
- ・ 江東区に所縁のある人物等を起用した、区独自のデザインマンホールを設置してほしい。
- ・ 区外の方々に江東区の行事（江東区民まつり中央まつり等）があまり知られていないので、区外にも積極的に広報・PR できる仕組みが必要。
- ・ 区外から転入者が増えているが、江東区の歴史を知らない人も多い。そこで、観光ボランティアガイドが江東区の歴史について語る機会を設けてほしい。

【グループ2】

- ・ 江東区の知名度は低いため、どうやって知名度を上げていくかが課題。
- ・ 江東区内を巡るとき、交通の利便性が悪いため、バスの 1 日乗車券を活用するなどの工夫が必要。
- ・ 昔ながらの下町文化と豊洲などの先端的な文化がうまく組み合わせると良い。
- ・ 資料館巡りなどの観光ルートの中に、相撲部屋見学を組み込んではどうか。
- ・ 障害者の方々が描いたアートが非常に有名なので、PR すべき。
- ・ 観光資源としての河川について、野鳥やカニなど自然の魅力を活かすために、濁っている川の水を綺麗にしてほしい。
- ・ 外国人が喜んでくれそうな、深川八幡祭りや桜のスポット、豊洲市場でのマグロの解体

ショーなどを活かした、外国人観光客向けのコンテンツをつくってはどうか。

- ・ 江東区の「食」も魅力的であるため、商店街、居酒屋、ワイナリー、カフェなども推してほしい。

【グループ3】

- ・ 観光の目的は「来てもらうこと」「楽しんでもらうこと」であることを念頭に置くべき。
- ・ 観光ガイドの力を最大限活かすために、区には観光ガイドの実態把握と支援をお願いしたい。
- ・ 外国語ボランティアガイドに対して、資料館利用を割引するなどのサポートをしていただけると活動幅が広がるため、外国人観光客へのPR不足解消につながるのではないか。
- ・ 区報はもちろん、一般紙など他の媒体でも江東区の観光について取り上げてもらうことが必要。その中で、区が取り組んでいる学生広報サポーターによるInstagram等によるPRは頼もしいと感じた。
- ・ 観光における他区との協働関係構築によって、観光ガイドが地域をまたいで気軽に活動できる環境をつくってほしい。
- ・ 「海の森公園」がオープンしたが、アクセスが不便で行きづらい。バスはあるが、利便性に欠けるため、行きやすくするための環境整備が必要。